

【外国語・中2・「Program 3 Taste of Culture」】①

本単元の目標

日本食に興味があるALTに自分のおすすめの日本食について知ってもらうために、おすすめの日本食の具体的な説明やおすすめする理由について、事実や自分の考え、気持ちを整理し、まとまりのある内容をALTに伝えることができる。

ICT活用のポイント

- ・授業における言語活動の充実を図るため、本時の事前に**オンライン動画教材**を用いて**本時の新出言語材料**を学習する。
- ・自他の表現を比較し、より正確に英文を書くことができるよう、**学習支援ソフト**に**各自で英文**を書き、**全体で共有**する。

本時 3 / 14時間

【家庭学習（予習）】

オンライン動画教材を視聴し、新出言語材料の意味や使い方を知る。

【つかむ】

動名詞のポイントをペアや全体で共有し、本時のめあてを確認する。

【追究する】

ペアで伝え合う。**動名詞を用いた文を学習支援ソフトの付箋紙**に書く。伝え合った内容をワークシートにまとめる。

【まとめる】

言語面と内容面から学習を振り返る

事例の概要

＜本時のめあて＞

自分が夏に楽しむ日本食について、友達やALTに具体的に伝えよう。

【事例におけるICT活用の中心場面①】

- **予習としてオンライン動画教材**を視聴し、**本時で学習する新出言語材料（動名詞）を用いた英文の意味や使い方**を学習しておく。

- **オンライン動画教材**を視聴して各自でまとめたノートを用いて、動名詞のポイントをペアで確認する。

【事例におけるICT活用の中心場面②】

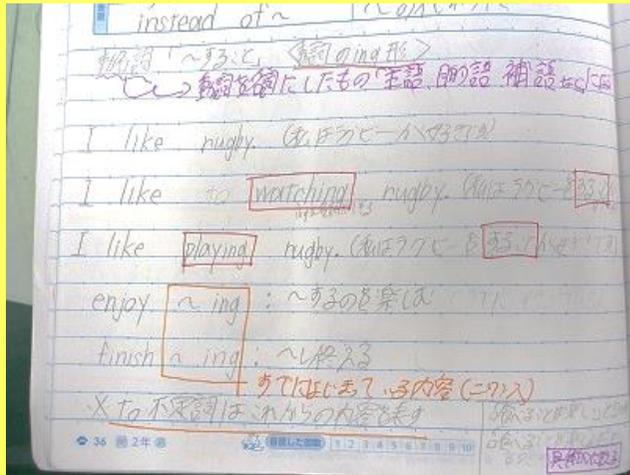
- 「夏に楽しむ日本食」について、新出言語材料（動名詞）を用いてペアで伝え合う。**学習支援ソフトの付箋紙に動名詞を用いた文**を書き、**全体で共有・比較検討**する。
- **英文を書いたワークシート**を大型モニターに提示し、**良い点を全体で共有**する。

- 言語面、内容面から本時の学習を振り返る。

【外国語・中2・「Program 3 Taste of Culture」】②

＜単元の課題＞ 日本食に興味があるALTにおすすめの日本食を紹介しよう。

【事例におけるICT活用の場面①】



＜予習＞
家庭学習で、授業支援アプリを活用して「動名詞」についての動画を視聴し、その用法をノートにまとめておく。

- **オンライン動画教材**をどの段階で、どのような意図（予習or復習）で視聴するのかを**単元計画に明確に位置付けた**。
- 教師が**新出言語材料**について**説明する時間を短縮（効率化）**し生徒が予習で得た知識を活用しながら、**言語活動を行う時間の確保、そして、伝え合う内容の充実**を図った。

What Japanese food do you enjoy in summer?



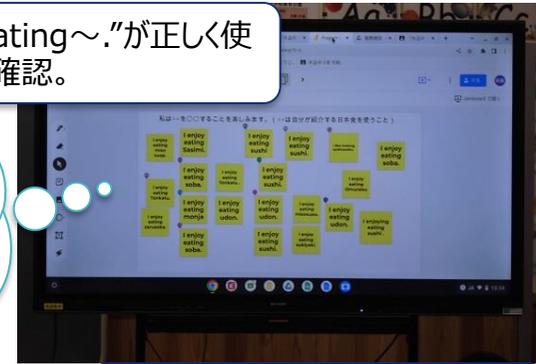
I enjoy eating Kakigori because I feel cool.

- 予習してきた動名詞を使う時のポイントをペア、そして全体で確認し、パターンプラクティスを行った後、ペアで伝え合った。
- 一回目の活動の後、中間評価を行い、表現を確認した。ペアを変えて再度伝え合った。
- ▶ 動名詞に関する**説明や確認の時間は大幅に短縮**され、**言語活動に十分な時間が取れた**。また、「enjoyの後にはeatingだよな」などと**生徒同士で確認している姿**が見られた。

【事例におけるICT活用の場面②】

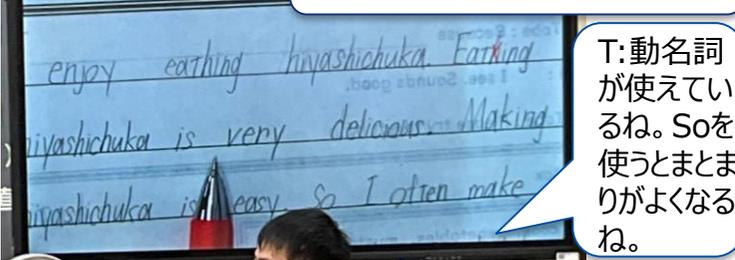
“I enjoy eating～.”が正しく使えているかを確認。

教師用ICT端末で生徒の様子を確認し、迷っている生徒を個別支援



→展開→まとめを意識しよう。

生徒がワークシートに書いた英文を写真に撮り、大型モニターに提示



T:動名詞が使えているね。Soを使うとまとまりがよくなるね。

- 正確に動名詞が使えているかを確認するために、**共同編集機能を活用して各自で英文を書いて共有**した。その後、単元末の紹介活動を意識して、本日のトピックについて自分の考え、理由等をワークシートにまとめた。数名の生徒の英文を提示し、良い点を共有した。
- ▶ 話す・書くといった**言語活動を十分に行うことができ**、活動を通して生徒は**予習で得た知識を活用**することができた。

【活用したソフトや機能】・オンライン動画教材
・学習支援ソフト（共同編集・共有機能）